

◆調査フロー

空家候補物件抽出 合計1,384件

(R4年度空家等候補物件449件、空家相談物件97件、ゼンリン空家コンテンツ838件)

・重複物件、除却済み物件等除外

(取壊し補助、リサイクル届、3,000万控除、R4所有者調査にて空家非該当物件)



外観調査対象物件 861件

・外観調査実施 現地にて対象物件 6件追加



外観調査による住宅系空家等候補 403件

・水道利用状況確認(水道利用10m3以上の場合、空家非該当) 21件を除外

・R4年度調査からの継続空家 住宅系空家 **236件** を確定 …①

(R4年度調査の空家等270件のうち、34件は、建替え、売買等により空家等でなくなった)



R7年度住宅系新空家等候補 146件(403件-21件-236件)

・所有者意向調査により、空家非該当となった物件 42件を除外

・R7年度調査新空家等物件 **104件** …②

R7年度調査による空家等件数(①+②)

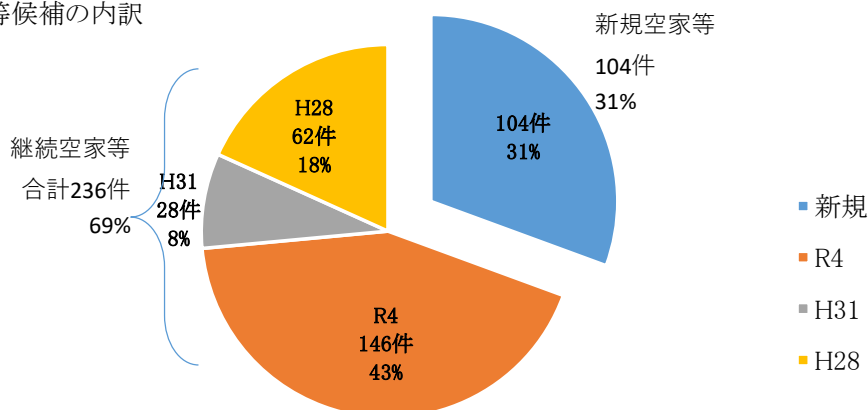
R4年度調査からの継続空家236件 + R7年度調査の新空家物件104件 = **合計340件**

◆空家等件数(専用住宅・店舗付住宅・集合住宅) ※令和7年9月調査時点

調査年度	令和7年度	令和4年度	平成31年度	平成28年度
空家等の件数	270-減34=継続236 340 継続236+新增104=340	291-減113=継続178 270 継続178+新增92=270	377-減220=継続157 291 継続157+新增134=291	377

- ・今回調査の空家等340件のうち、今回新たに空家等と認められたのは104件
- ・今回調査の空家等340件のうち、前回調査以前からの継続空家等は236件(内訳は下記グラフ参照)

R7 空家等候補の内訳

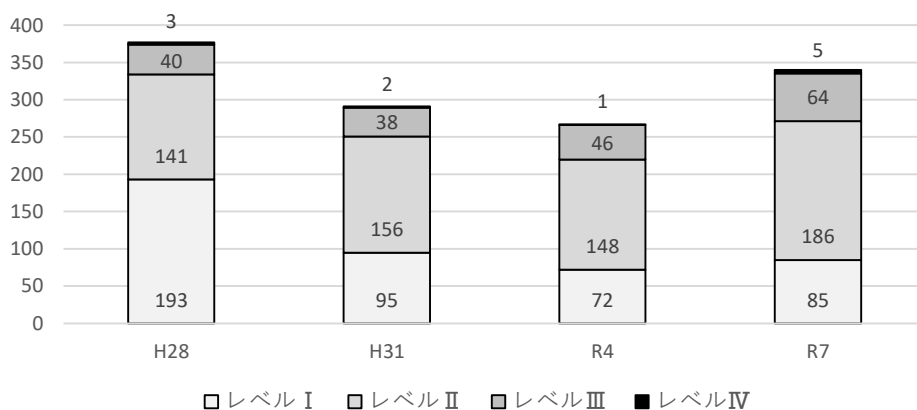


### ◆レベル別の空家等件数

区分	状態	件数			
		R7	R4	H31	H28
レベルⅠ	定期的な経過観察が必要ではないと思われる物件	85	72	95	193
レベルⅡ	定期的な経過観察が必要であり、状況に応じて、適切な管理を依頼する必要があると認められる物件	186	148	156	141
レベルⅢ	そのまま放置すれば「特定空家等候補物件」になるおそれがあり、適切な管理を依頼する必要があると認められる物件	64	46	38	40
レベルⅣ	周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれのある状態であり、「特定空家等候補物件」として認められる物件	5	1	2	3
合計		340	※267	291	377

※270件中3件については、公道からの判定不可物件

空家等のレベル別状況



### ◆所有者意向調査まとめ

対象：外観調査及びデータ整理による住宅系新空家等候補146件のうち、意向調査実施件数 130件

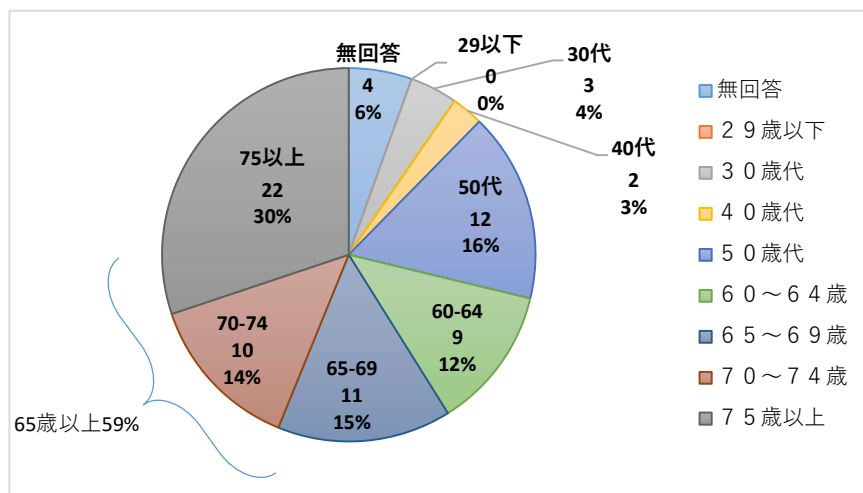
(外観調査後に取壊し済み、所有者不明、企業所有、R7空家相談物件 等 16件は対象から除く)

実施期間：(発送) 令和8年1月16日 ~ (回答締切) 令和8年2月5日 投函

回答数：71件 (回答率 54.6%)

#### 1. 回答者の年齢

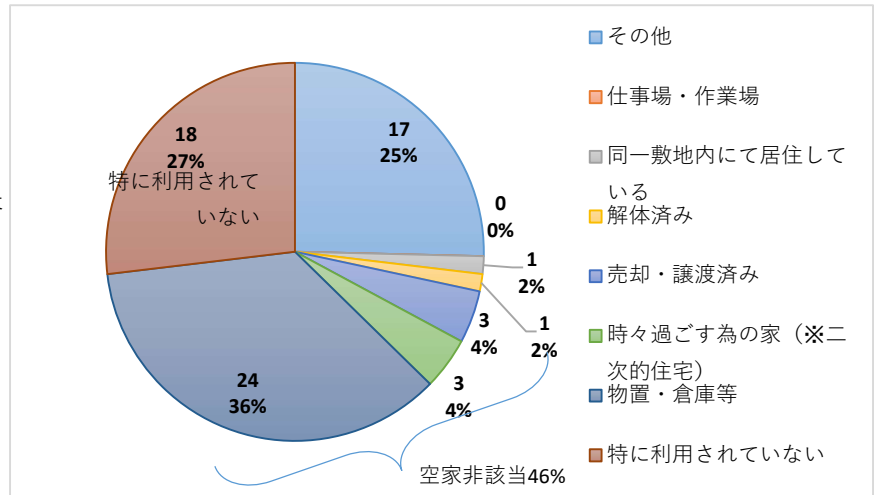
- ・ 65歳以上…59%
- ・ 75歳以上…30%



## 2. 建物の状況

- ・特に利用されていない…27%
- ・「物置・倉庫等」、「二次的住宅」、「解体・売却済み」等の回答は空家非該当…46%

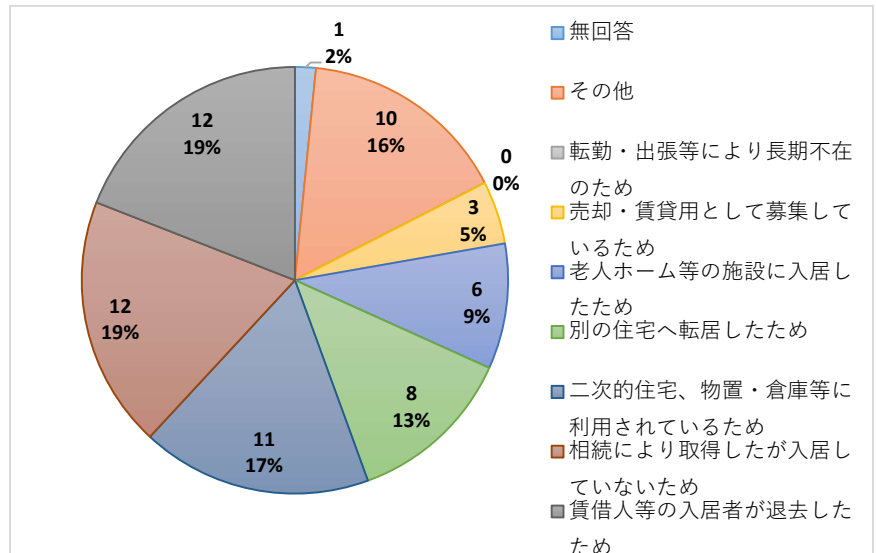
※その他…売却予定、地主と交渉中、賃貸用 等



## 3. 「空き家」となっている主な理由

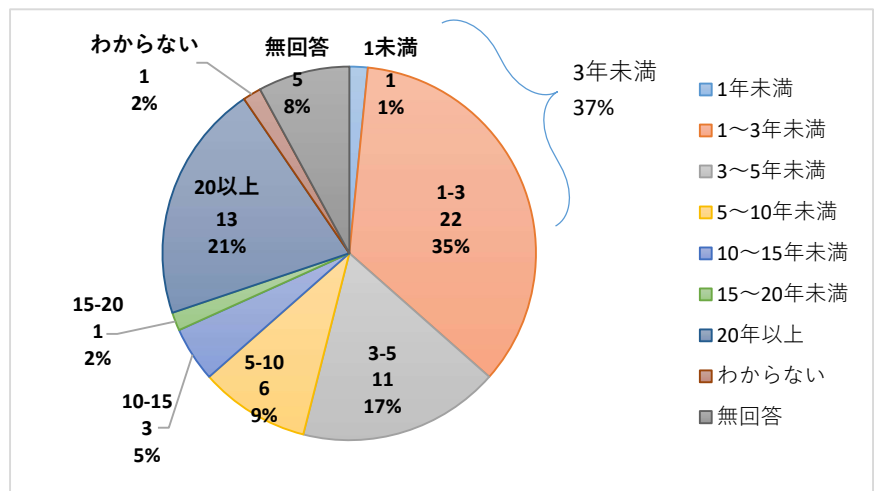
- ・賃借人が退去したため…19%
- ・相続により取得したが、入居していないため…19%
- ・別の住宅に転居したため…13%
- ・老人ホーム等施設に入居したため…9%

※その他…元々倉庫として利用、地主より借地の返却を求められたため 等



## 4. 「空き家」となってからの期間

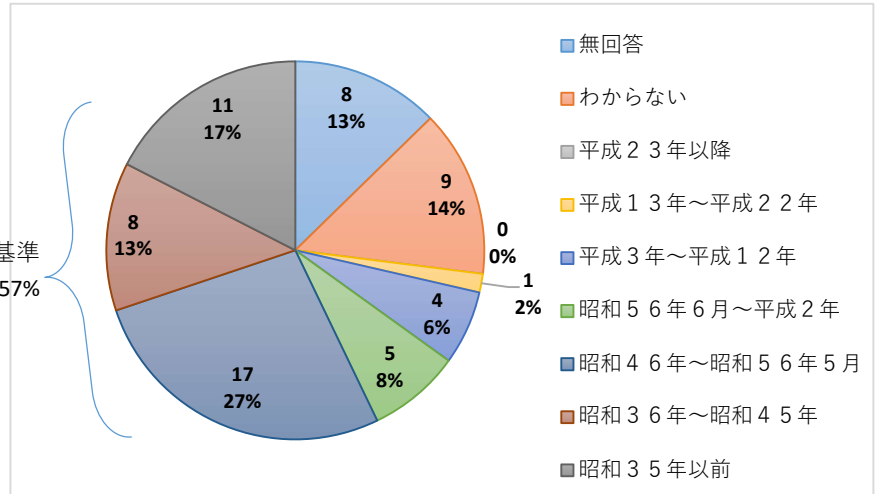
- ・0～3年未満…37% (R4年度調査以降)
- ・3年以上空家…54%
- ・わからない、無回答…10%



## 5. 建物の建築時期

- ・昭和56年5月以前（旧耐震）  
…57%
- ・昭和56年6月～平成12年5月  
…14%
- ・無回答、わからない…27%

旧耐震基準  
57%

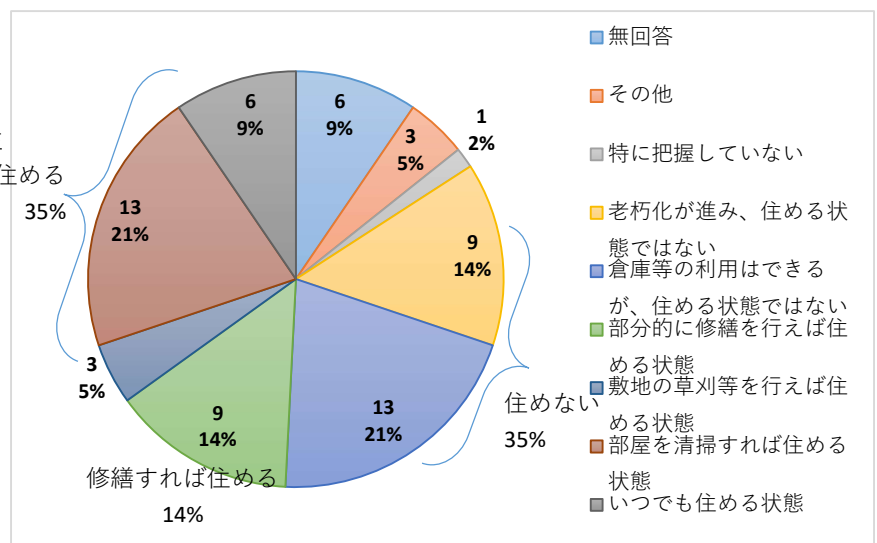


## 6. 建物の状態

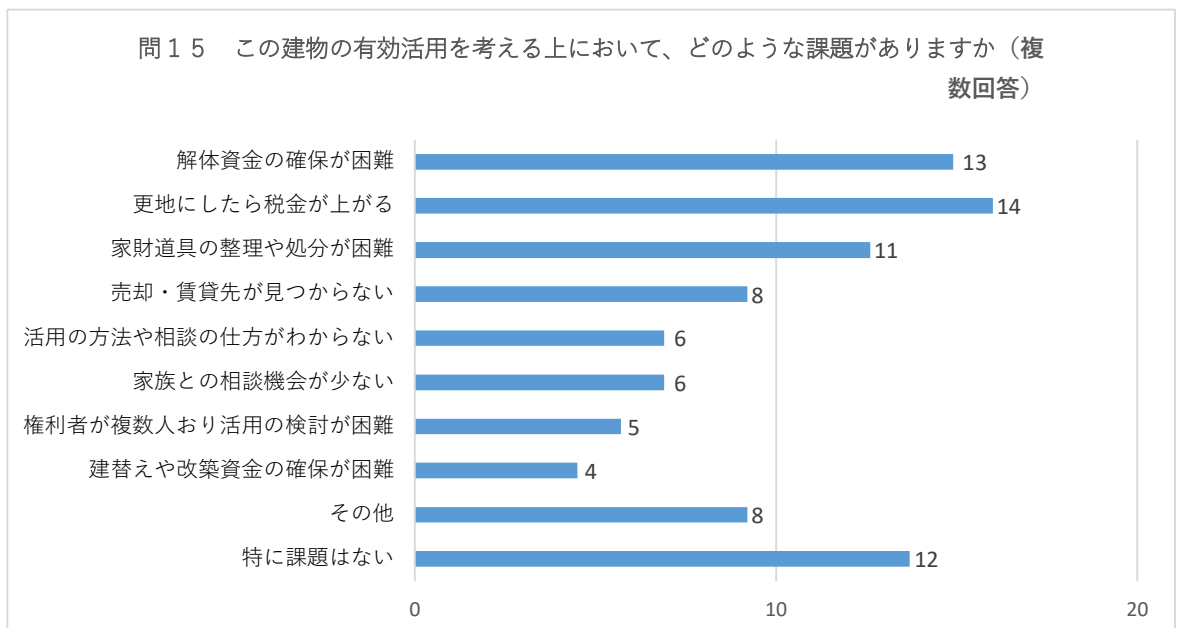
- ・清掃や除草等を行えばいつでも住める状態…35%
- ・部分的に修繕を行えば住める…14%
- ・住める状態ではない…35%

住める  
35%

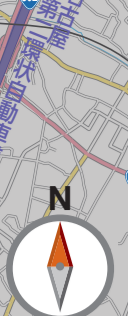
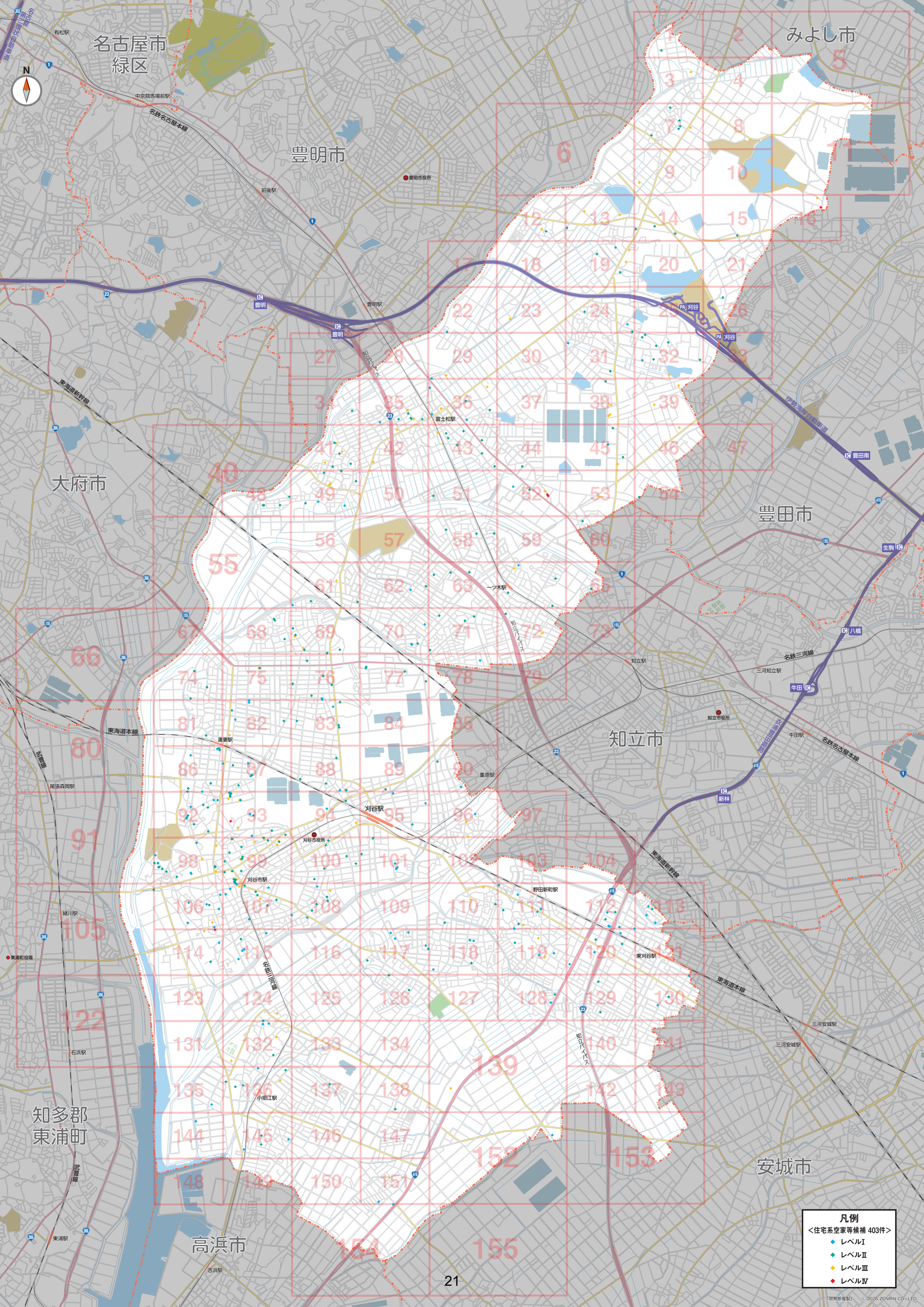
住めない  
35%



## 7. 建物の活用を考える上での課題



※その他…接道状況が悪く、土地の有効活用が見込めない  
隣地と一緒に売却をする約束をしており、待機中  
所有者が高齢であり、相続発生後に親族により売却等を予定 等



名古屋市  
緑区

豊明市

みよし市

大府市

豊田市

知立市

知多郡  
東浦町

高浜市

安城市

**凡例**  
 <住宅系空家等候補 403件>

- ◆ レベルⅠ
- ◆ レベルⅡ
- ◆ レベルⅢ
- ◆ レベルⅣ